

8-4-11 河川構造物専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 河川構造物専門委員会の開催

委員会開催回数：10回

技術委員会をはじめ各委員会からの報告・連絡、及び、河川構造物専門委員会での取り組み内容について、検討・審議を行った。コロナ禍の終息により、対面会議を主体とし Zoom 等による Web 会議も併用し開催した。

(2) 令和 5 年度 河川砂防技術基準 [設計編] の改定に伴う講習会の企画・実施

河川構造物専門委員会では、令和元年度以降「河川構造物の耐震性能照査指針」や「河川砂防技術基準 [設計編]」の改定に伴う講習会の開催。また、令和 4 年度には、若手技術者の技術力向上を目的とした「河川砂防技術基準 [設計編]」に関する講習会を実施した。令和 5 年は、新たに「河川砂防技術基準 [設計編] 第 4 節護岸・水制」の改定が追加され、これまでと同様、旧基準と新基準の違いや改定の経緯等が十分理解できていないことも多く、担当技術者が悩みながら業務に従事していることが想定されたため、日頃の業務執行上での悩み解消や基準への理解の深化を目的として講習会を実施した。

実施後のアンケートでは 80%以上の方が満足と回答し次回の開催希望も多かったため、継続開催を予定する。

(3) 「河川管理施設の点検結果評価基準等検討会」への委員派遣

国土交通省水管理・国土保全局が開催する「河川管理施設の点検結果評価基準等検討会」へ委員を派遣した。コロナ禍のため令和元年度以降開催されていなかったが令和 5 年度から再開した。これまで同様、河川管理施設の点検・診断等を適切に実施するため、点検基準や点検要領、健全度評価等の内容に関しての技術的な助言を委員として行い、今後も継続して参加予定である。

(4) 照査特別 WG への参画、品質セミナー講師派遣
照査特別 WG へ委員を派遣し、設計ミス防止のための「品質セミナー」に向けて、河川構造物の設計におけるエラー事例の収集と、エラー事例を基にしたテキスト、セミナー用 PPT を作成した。また、今年のセミナーは、ビデオ配信による実施となったため、撮影時の講師を 1 名派遣した。

(5) 全国建設研修センターへの講師派遣

(一財) 全国建設研修センターで開催される「河川構造物設計研修」に対して、平成 21 年度より共催で取り組み、河川構造物の特徴・設計の考え方、基礎工設計・演習、擁壁の構造設計手法、樋門の設計・演習に関する 4 日間の研修に対してテキストを作成し講師を 3 名派遣した。

(6) その他

主な活動を以下に示す。

- a) 対外活動委員会 WG(水機構)への参画
- b) 維持管理対策 WG への参画
- c) 業務研究発表会 WG への参画
- d) RCCM 自主学习教材改定作業
- e) 次期積算システム検討 WG への参画

2. 次年度の活動について

- ・照査特別 WG への参画、品質セミナーテキスト作成と講師の派遣
- ・「河川構造物設計研修」講師派遣
- ・RCCM 教材の改訂作業への参画 (継続)
- ・各種委員会・WG (CIM 関連等) への参画
- ・河川構造物の技術に関する講習会の開催
- ・詳細設計照査要領の改訂版作成
- ・災害発生時は、災害対応とその活動報告

(河川構造物専門委員会委員長 磯部 滋)